



ラップトップPCキーボードのクリーニングガイド

このガイドはラップトップPCキーボードをクリーニングするテクニックを紹介しています。粘着力があったり、壊れたキーを日常メンテナンスするためのガイドです。

作成者: Taylor Dixon



はじめに

時間が経過するにつれて、キーボードには埃や油脂、指から落ちるゴミなどが集められます。この場所は様々な細菌が繁殖しやすい場所でもあり、粘着性が付いたり、キーボードが機能しなくなります。このガイドではラップトップキーボードをクリーニングするための方法を紹介しています。

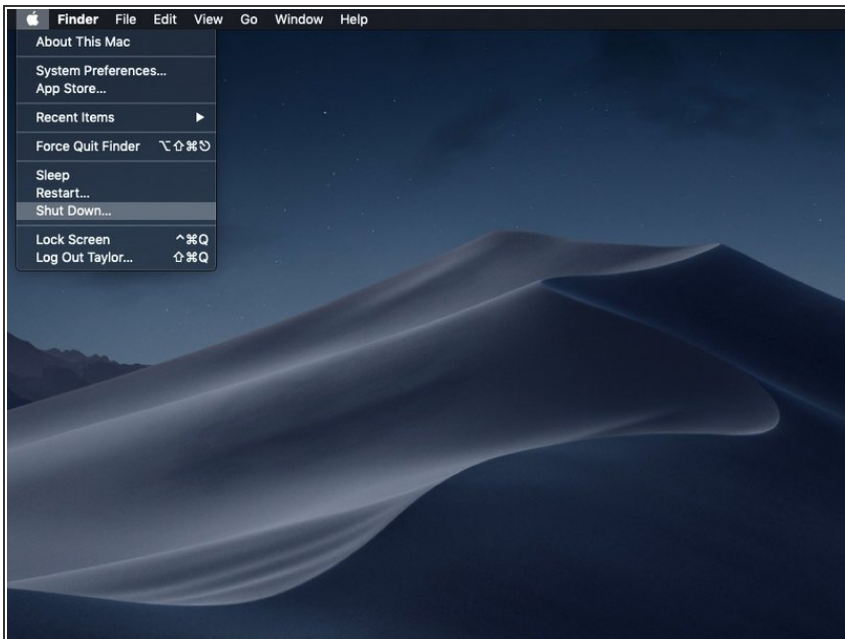
MacBook Proのキーボードからサンプル画像を作りましたが、このテクニックはどんなラップトップPCのキーボードにも使えます。

AppleラップトップPCに搭載されている“バタフライ”キーボード (2015年以降に発売のMacBookもしくは、2016年以降のMacBook Proに搭載)には、この修理マニュアルを参照しないでください。 バタフライのメカニズムと超薄型キーキャップはとりわけ壊れやすく、形状を保ったまま取り出すのが難しいからです。これらのモデルでキーボードの問題が生じた場合は、[キーボード修理プログラム](#)にお問い合わせください。

ツール:

- [Isopropyl Alcohol](#) (1)
- [マイクロファイバー製クリーニングクロス](#) (1)
- [Cotton Swabs](#) (1)
- [Compressed Air](#) (1)
- [iFixit開口用ピック\(6枚セット\)](#) (1)
- [Q-Tips](#) (1)

手順 1 — シャットダウンします



- ラップトップPCをシャットダウンします。

手順 2 — 詰まったゴミを取り除きます



- エアダスターをキーボード全体にかけて吹きかけます。
- この手順では、ゴミがラップトップから落ちやすいように、可能であれば、ラップトップを上下逆に持ち替えて(キーボードが床に面するように)ください。
- ① あるキーの下に何かが詰まっている場合は、エアダスターを該当箇所に吹きかけながら、あらゆる角度に傾けてください。ラップトップのキーの底にはゴミを詰まらせてしまう、[小さなエッジ](#)がついています。

手順 3



- マイクロファイバーやバキューム (ハンドクリーナー)を使って、エアダスターによってキーボード下から吹き飛んだゴミを拭き取ります。

手順 4 — クリーナー



- マイクロファイバーを90%以上のイソプロピルアルコールで湿らせて、キーボード表面全体を拭き取ります。特に汚れが目立つ部分やキーボード間のスペースは念入りにクリーニングをしてください。
- ① 一般的に、90%以上のイソプロピルアルコールには電子機器に損傷を与えない程度の不純物しか含まれていませんが、それでも作業にはご注意ください。この作業で使用するマイクロファイバーは、液体が滴り落ちるほど付けるのではなく、軽く湿らせる程度で十分です。

手順 5 — 粘着性のあるキー



- 粘着性のあるキーや大きなゴミがキーボードの下に詰まっている場合は、開口ピックや薄型のツールを使って、問題のキーを丁寧に外します。
- キーと筐体の間にある小さな隙間に開口ピックを慎重に差し込んで、上向きにキーを引き上げます。

⚠ Apple ラップトップ PC に搭載されている“バタフライ”キーボード (2015 年以降に発売の MacBook もしくは、2016 年以降の MacBook Pro に搭載) は、この作業の対象外です。バタフライのメカニズムと超薄型キーキャップはとりわけ壊れやすく、形状を保ったまま取り出すのが難しいためです。これらのモデルでキーボードの問題が生じた場合は、[キーボード修理プログラム](#)にお問い合わせください。

- i** キーキャップは小さな[壊れやすいクリップ](#)がつけられています。キーを持ち上げる際には、このクリップにご注意ください。

手順 6



- キーが取り出せたら、エアダスターを使ってキーのリテイナー周辺に付いたゴミを吹き飛ばします。
 - キーのリテイナー周辺に蓄積された汚れは、イソプロピルアルコールを綿棒を湿らせて、きれいに拭き取ります。
- ⓘ キーのリテイナーに粘着性がある場合は、これを取り出して、温めた石鹼水に約5分間浸します。取り出して乾燥させてから、元の位置に戻してください。
- ⚠ キーリテイナーを取り出す前に装着方向を確認してください。

手順 7



- キーキャップを再び取り付けるには、クリップが下側にあるか確認してから、キーをキーをリテーナの位置に合わせ、指でクリップを押し込んで装着します。

⚠ キーキャップを再装着する際は、ゆっくりと慎重に作業を進めてください。キーキャップを固定しているクリップは非常に壊れやすいものです。キャップがカチッと音を立てて上手く装着できない場合は、無理に押し込まないでください。クリップの配置を再確認してやり直してください。

お疲れ様でした、これでキーボードはきれいになりました。キーボードがカチカチと機敏な音を立て、ノートPCの寿命を延ばすには、必要に応じてこれらの手順を時々繰り返してください。